

2 予算案のポイント

(1) 社会情勢を踏まえた事業の実施

秋以降の急速な景気後退や地球温暖化をはじめとする生活環境の悪化など、市を取り巻く状況は大きく変わってきています。また、集中豪雨の頻発などによる自然災害が多く発生しています。

平成 21 年度予算では、誰もが安心して暮らすことができる、より一層魅力あるまち町田を目指して、これらの変化に速やかに対応する新規・拡充事業を積極的に計上しました。主な事業は次のとおりです。

緊急経済対策

(主な事業 計) 2 億 6 , 9 2 4 万円

1 . 雇用対策

東京都制度を活用した「働く場」の創出 (22 ページ) **新規** 1 億円

新たな事業の委託や臨時職員の採用により、新たな雇用を創出します。

(事業例) 町田市事業者実態調査

子育て支援・保育ニーズ調査

事業系ごみの分別排出啓発業務



2 . 経済対策

「すき・まち POINT」プレミアム付き商品券による市内経済の活性化

(23 ページ) **新規** 1,800 万円

町田市商店会連合会が実施する 10% のプレミアムポイントがつく

商品券の発行を支援します。(平成 20 ~ 21 年度債務負担行為事業)

緊急融資制度の実施 (24 ページ) **継続** 1 億 3,831 万円

3 . 生活対策

生活安定応援窓口の開設 (25 ページ) **継続** 1,293 万円

緊急経済対策については、平成 21 年 1 月 13 日付で緊急経済対策本部を庁内に設置し、すでに経済対策の一部や実態調査を平成 21 年度予算に先行して行っています。

また、追加の雇用対策については国の「緊急雇用創出事業」を活用して 6 月補正予算に計上し、対応する予定です。

事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

災害対策

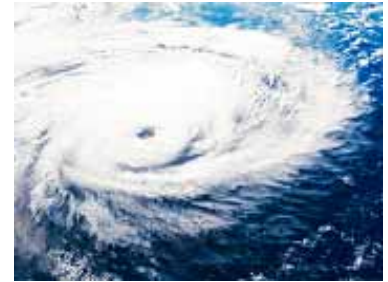
(主な事業 計) 17億3,792万円

1. 浸水対策

下水道雨水管整備の積極的な推進 (26 ページ)

4億3,412万円

これまでに行ってきた雨水管整備に加えて、浸水対策として効果が見込まれる小山3号雨水幹線、山崎1号雨水幹線の整備について計画を前倒しして行います。




調整池の整備 (27 ページ)

6億3,000万円

忠生土地区画整理事業において4か所の調整池整備を行い、降雨時における境川の流量を緩和します。


2. 地震対策

小中学校の耐震補強 (28 ページ) 

5億9,258万円

平成22年度の全公立小中学校の耐震化100%達成に向け、小学校6校、中学校2校の耐震補強工事および小学校2校、中学校2校の耐震補強設計を行います。

(参考) 耐震工事済み市立小中学校数 20 36校 21 41校


家具転倒防止器具の助成 (29 ページ) 

6,292万円




震災時の人的被害を軽減するため、希望する世帯に対して家具転倒防止器具を配布します。また、取付作業の困難な高齢者、障がい者世帯等には器具の取付を行います。

3. その他の災害対策

ヘリサイン表示整備 (29 ページ) 

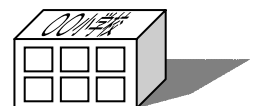
275万円

救急救護活動拠点に指定している小中学校7校について、上空からのランドマークとなるヘリサイン表示を実施します。

防災無線デジタル化 (30 ページ) 

1,555万円

老朽化した防災行政無線の更新にあたり、双方向通信やデータ通信といった災害時の情報連絡の高度化を図るため、防災無線のデジタル化をすすめていきます。



事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。